

「マーケティング・オートメーション」 活用への第一歩「会員統合」

株式会社 オージス総研
テミストラクトソリューション部
千野 修平

自己紹介



名前

千野 修平（せんのしゅうへい）

役割

認証技術グループ 主任アーキテクト

好きな技術

認証・IdM、



、



来歴

入社以来、ID管理基盤・認証基盤の開発や導入の技術支援を行っている

本セッションのお題



会員統合

会員向けサイトに対する 新たな要求

NEW

クライアントの 多様化

- ✓ ブラウザ
- ✓ スマホ
- ✓ ウェアラブル
- ✓ センサー ...

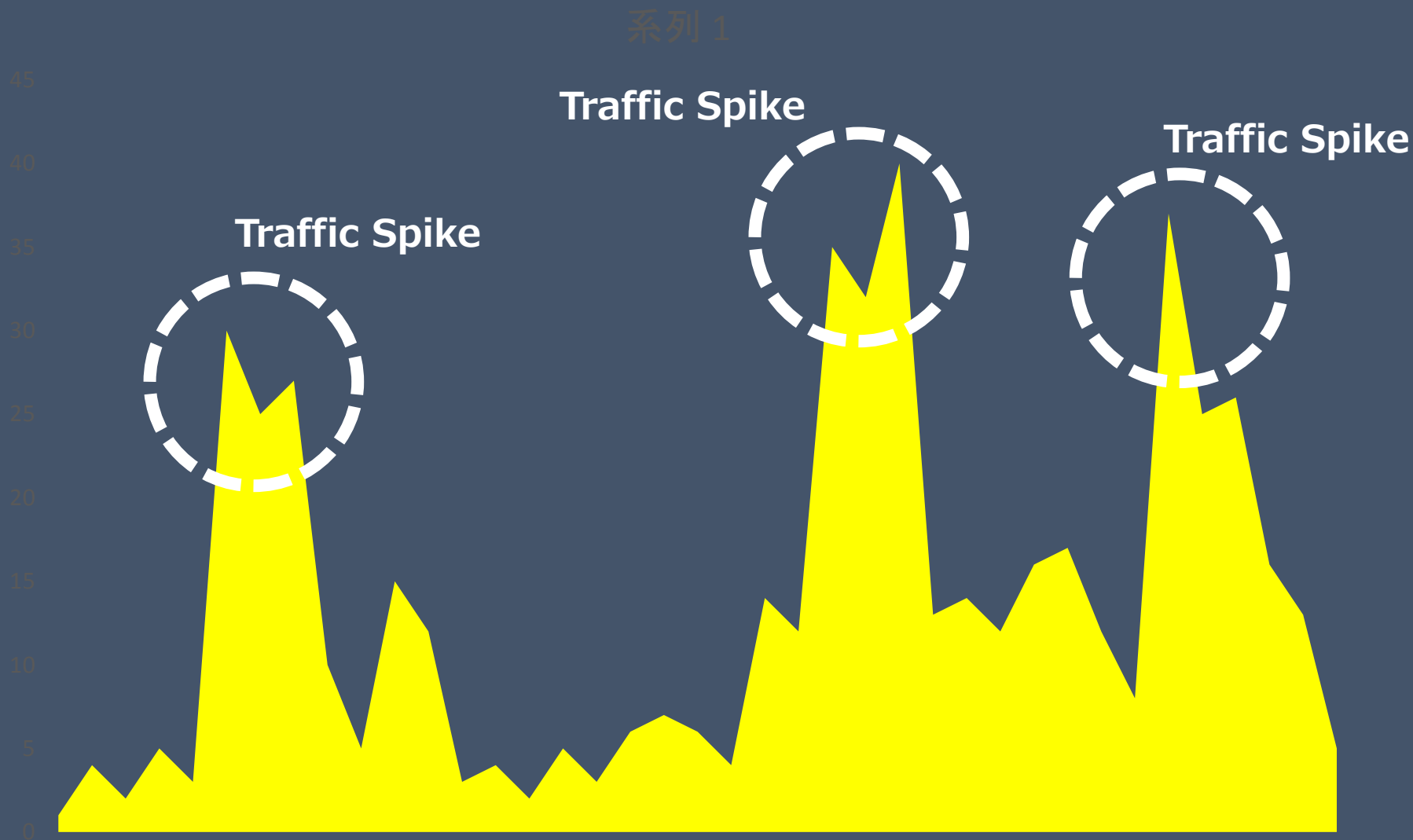




顧客の創出 収益の拡大

- ✓ Facebookで
 - ✓ Lineで
 - ✓ Twitterで
 - ✓ Adsで ... 宣伝！
-
- ✓ コンテンツ追加
 - ✓ キャンペーン
 - ✓ スマホアプリ版

突発的なアクセスへの対応

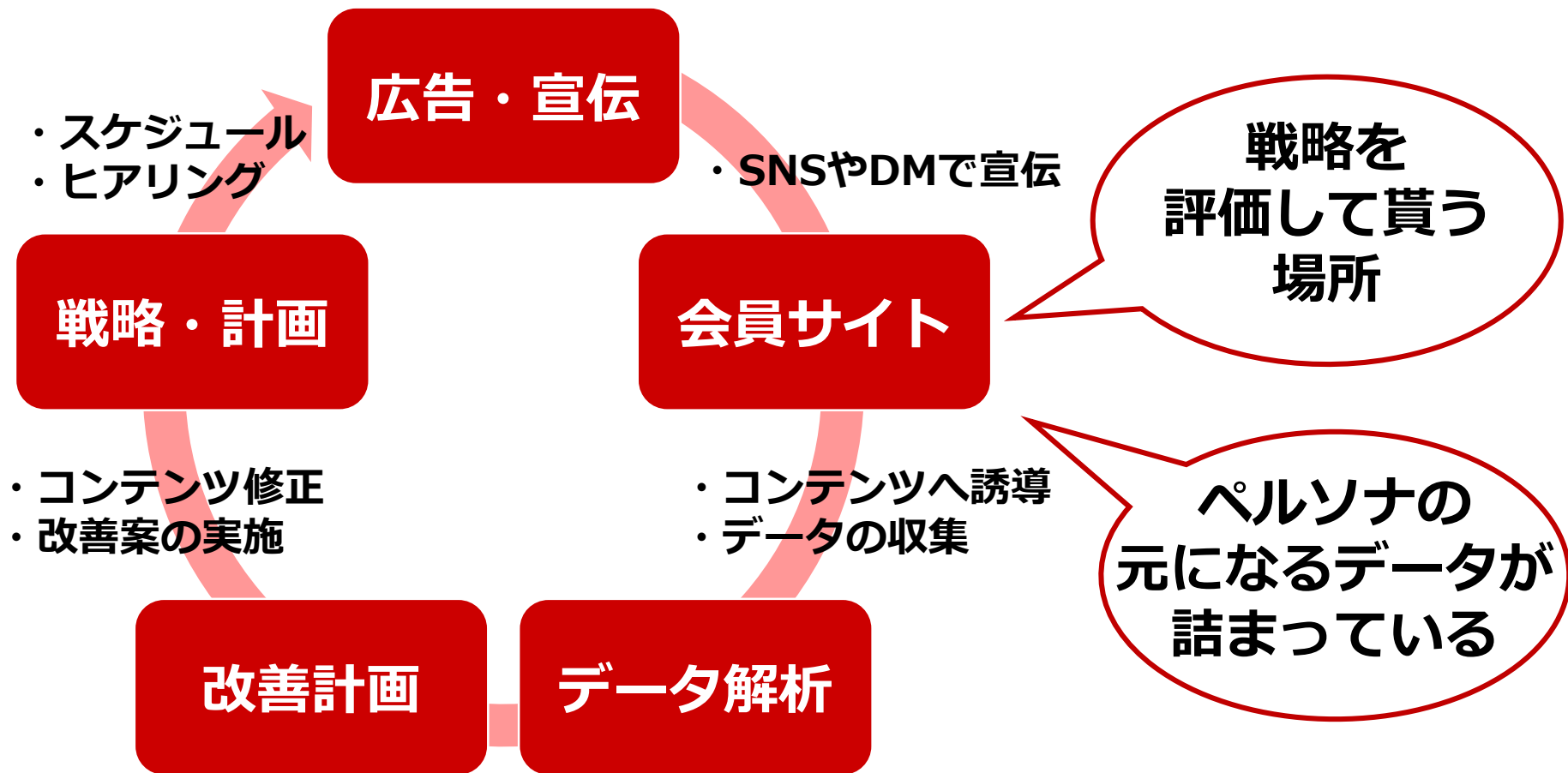




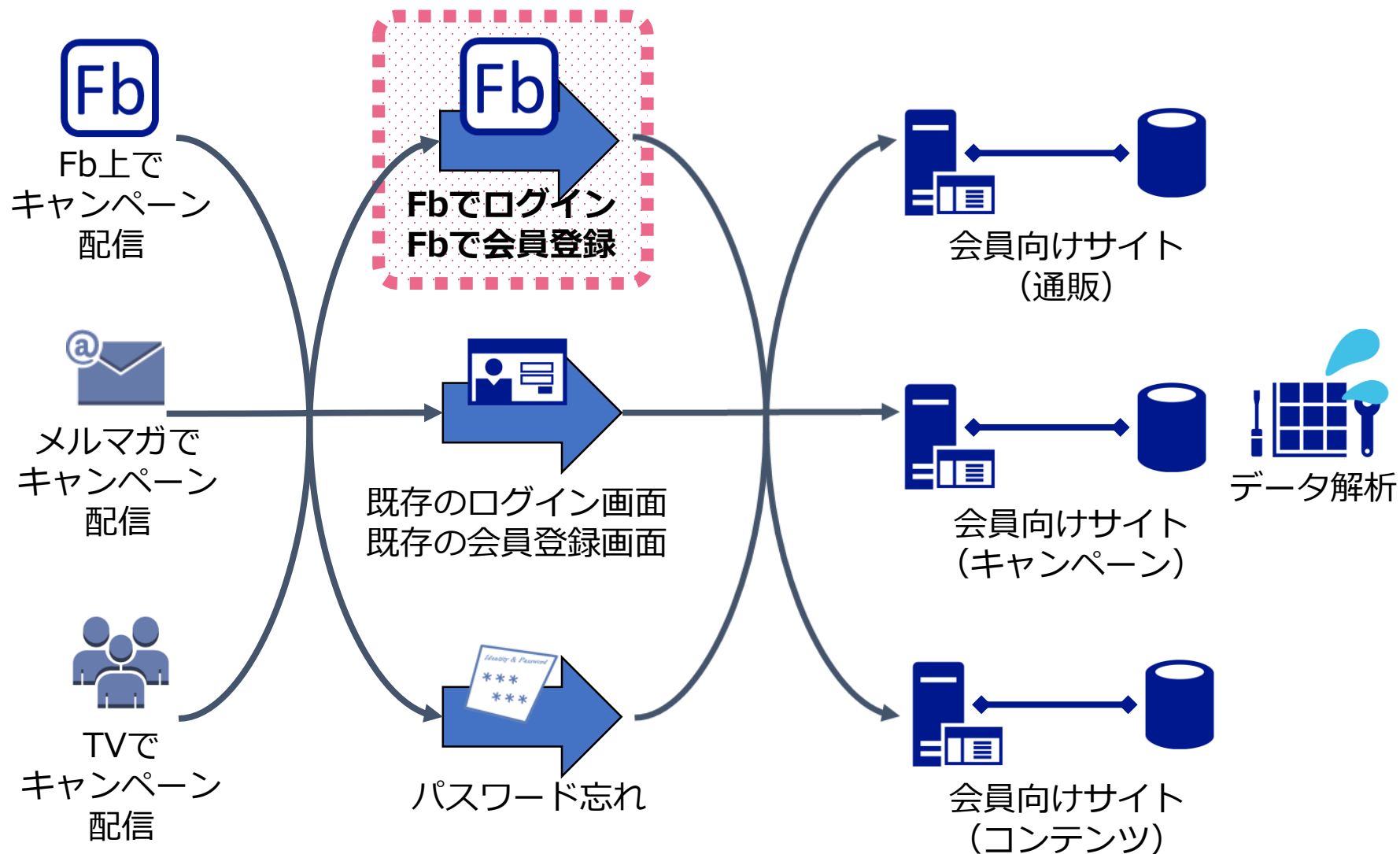
データを
マーケティング
に活用したい

会員向けサイトに対する新たな要求

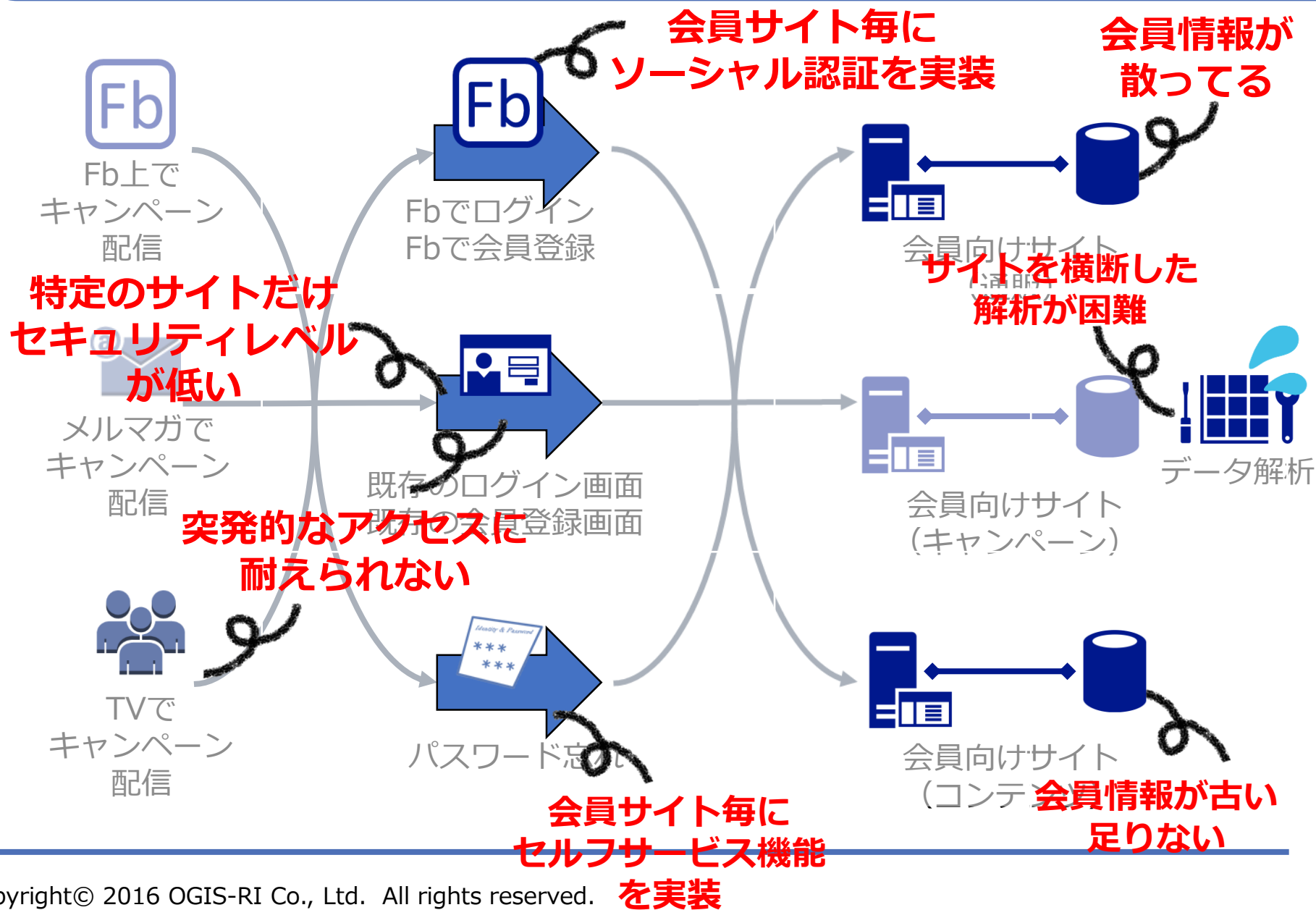
会員向けサイトは「次のビジネスを実行」し、「評価を貰い」、「データを収集」する場所となっている。



例：ソーシャルログイン対応



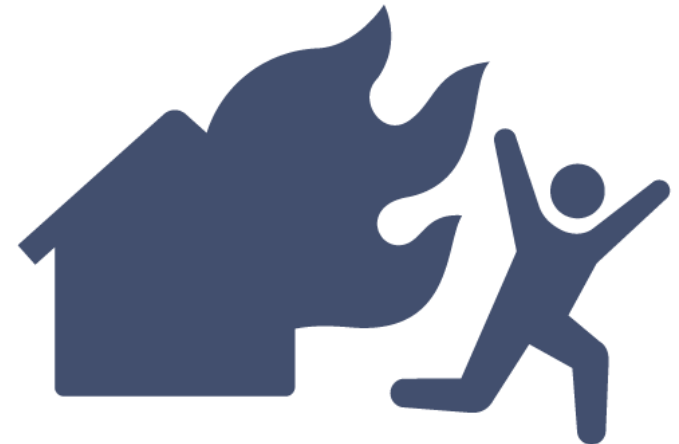
例：ソーシャルログイン対応



1 システム毎に対応するのは有り？

- ☑ 認証・会員登録機能の実装
- ☑ ソーシャルログイン・レジストの実装
- ☑ 様々なデバイス、ネイティブアプリの対応
- ☑ 会員管理機能の実装
- ☑ 認証の強化（2要素認証）
- ☑ 会員サイトをまたぐ情報の串刺し、同期

無しだと思います…



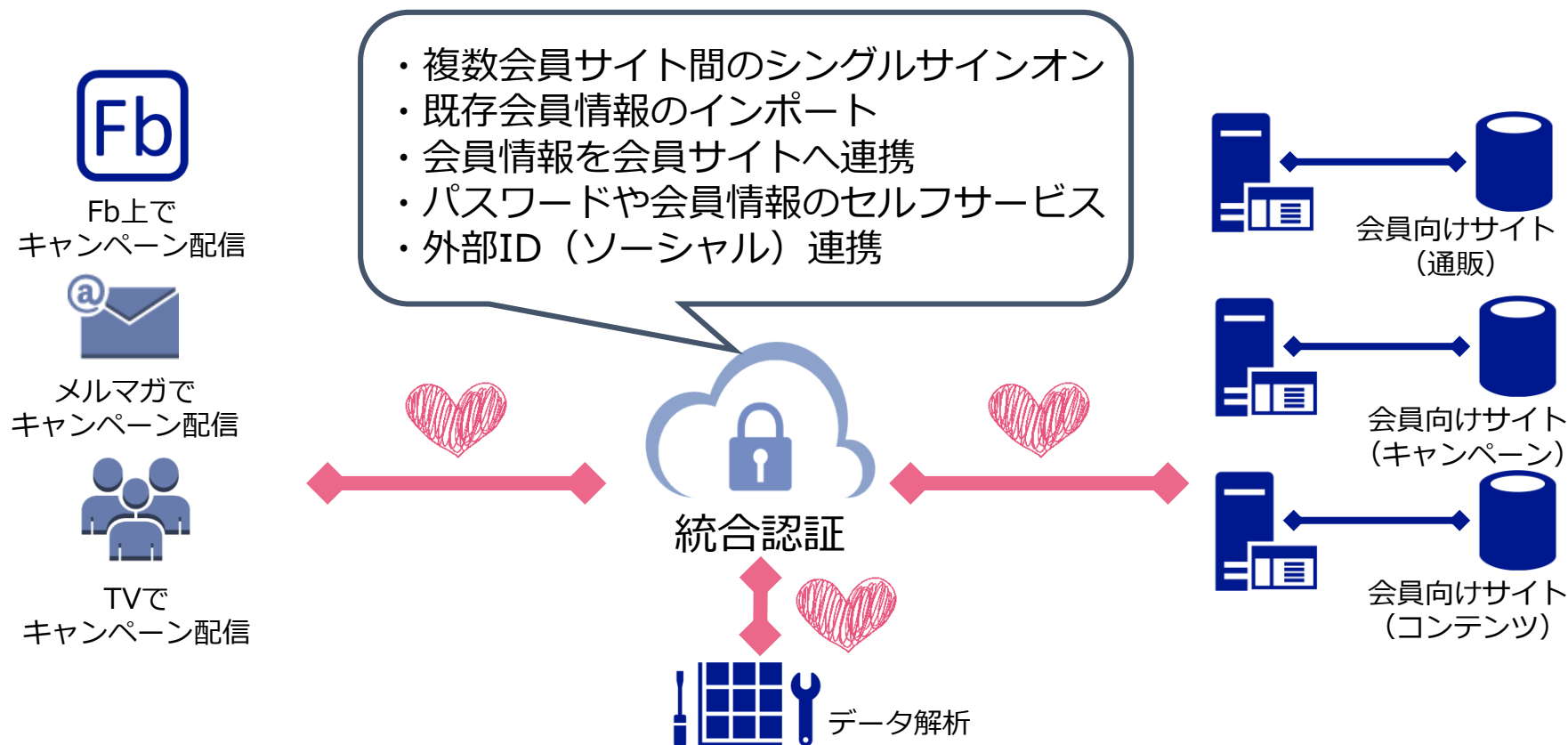


**オージス総研が
考える会員統合とは？**

複数システムが共通で使える**会員管理**・**会員認証**

会員管理と**会員認証**は共通の機能として準備する

- ▶ 副産物として「会員情報」が統合され、データ分析に活用できる
- ▶ データの鮮度や整合性も統合認証上で保証する



【But...】 共通の機能としての展開が**難しい**背景

会員向けサイトはシステムに依って**オーナーが違う**ことや、システムの制約があるため、実現が困難なケースがあるが、実現機能について、優位性の理解の深化やTCO比較を実施し、判断を行う。



会員向けサイト
(キャンペーン)

企画、広報がオーナーである。
クラウドサービスを使っている。
開発ベンダーはAAA社。



会員向けサイト
(通販)

Eコマースがオーナーである。
オンプレのシステムを使っている。
開発ベンダーBBB社。



会員向けサイト
(ポイントカード)

カード事業がオーナーである。
オンプレのシステムを使っている。
開発ベンダーはCCC社。



オージス総研が考える統合認証とは？

□ 原則

- 「会員管理・会員認証」は**一箇所**で、**共通の機能**で用意する
- システムは密結合せず、**「連携のprotocols」**でつなぐ

□ 方針

- 1. 会員情報の一元管理

- **【集める】** 既存の会員情報は集約する（インポートできる）
- **【連携する】** 会員サイトへの会員情報を「**ID連携・属性連携**」する

- 2. 認証の一元管理

- **【SSOする】** 会員サイトの認証は一箇所で行ない、どのサイトも均一化されたセキュリティとUXを提供する

- 3. ソーシャル連携

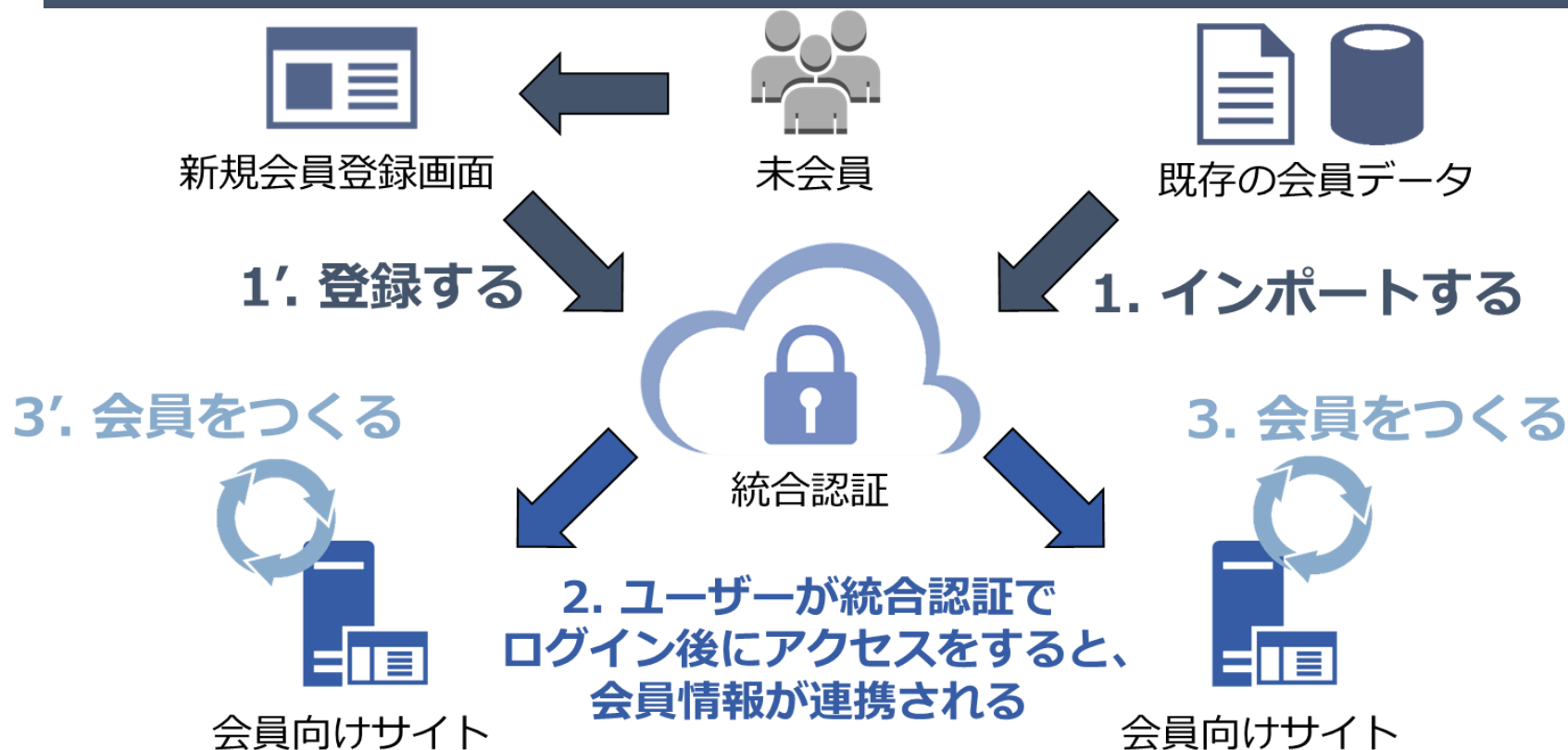
- **【認証と会員登録を楽に】** ソーシャルログイン・レジストに対応

□ 期待値

- **「統合認証有りき」**で戦略的なコンテンツを作ることを目指す
- **「ビジネスに注力したサイト運営」を目指す（究極）**

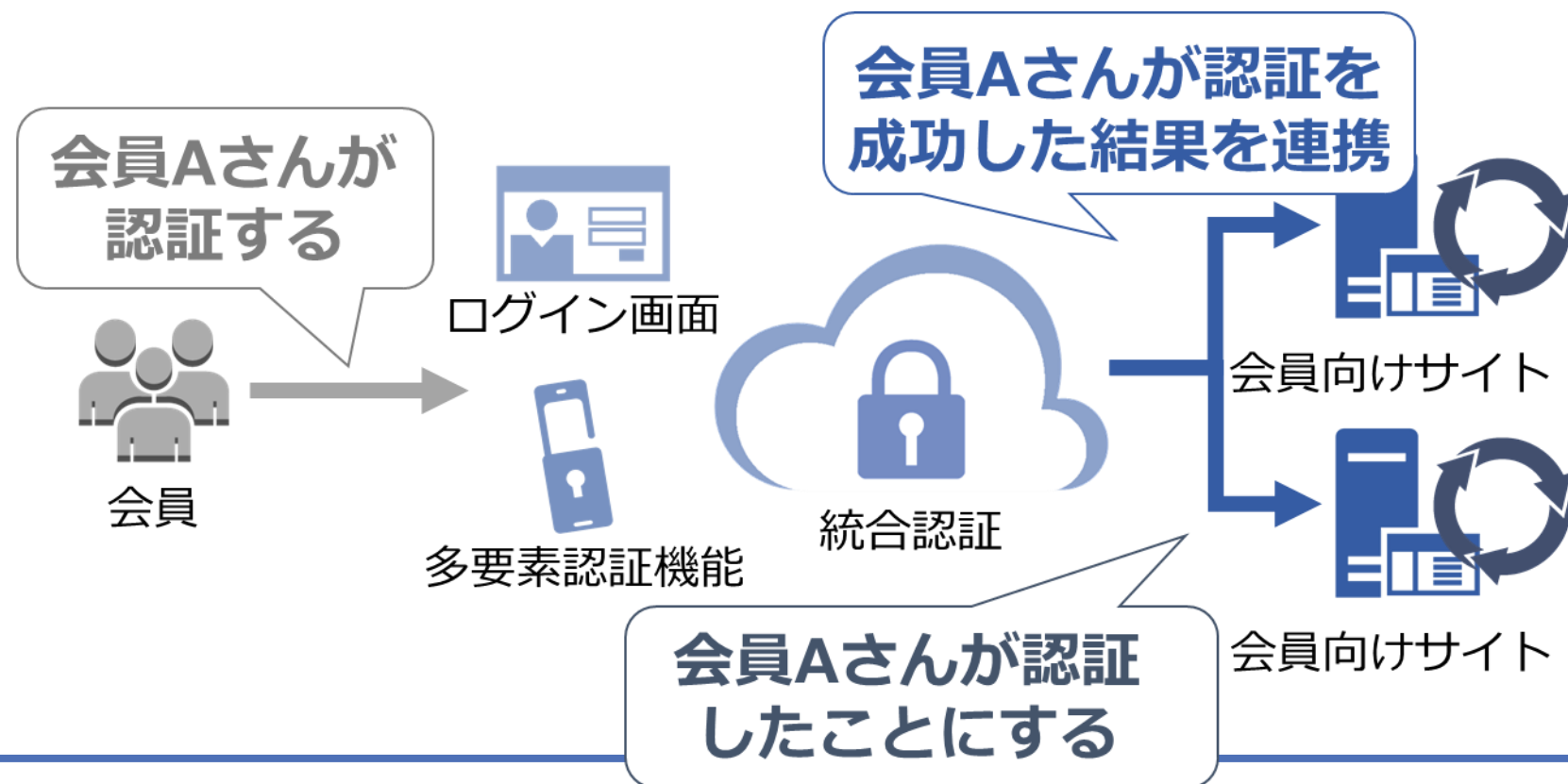
1. 会員情報の一元管理（集める・連携する）

- ✓ ID・属性の連携プロトコルに対応したAPIを介し、「既存会員情報のと込み」と「各会員向けサイトに会員情報の連携」が出来る
- ✓ 統合認証に会員情報が全て集約管理されるので、データの新鮮さ、精度の向上が見込め、マーケティングに活用できる。



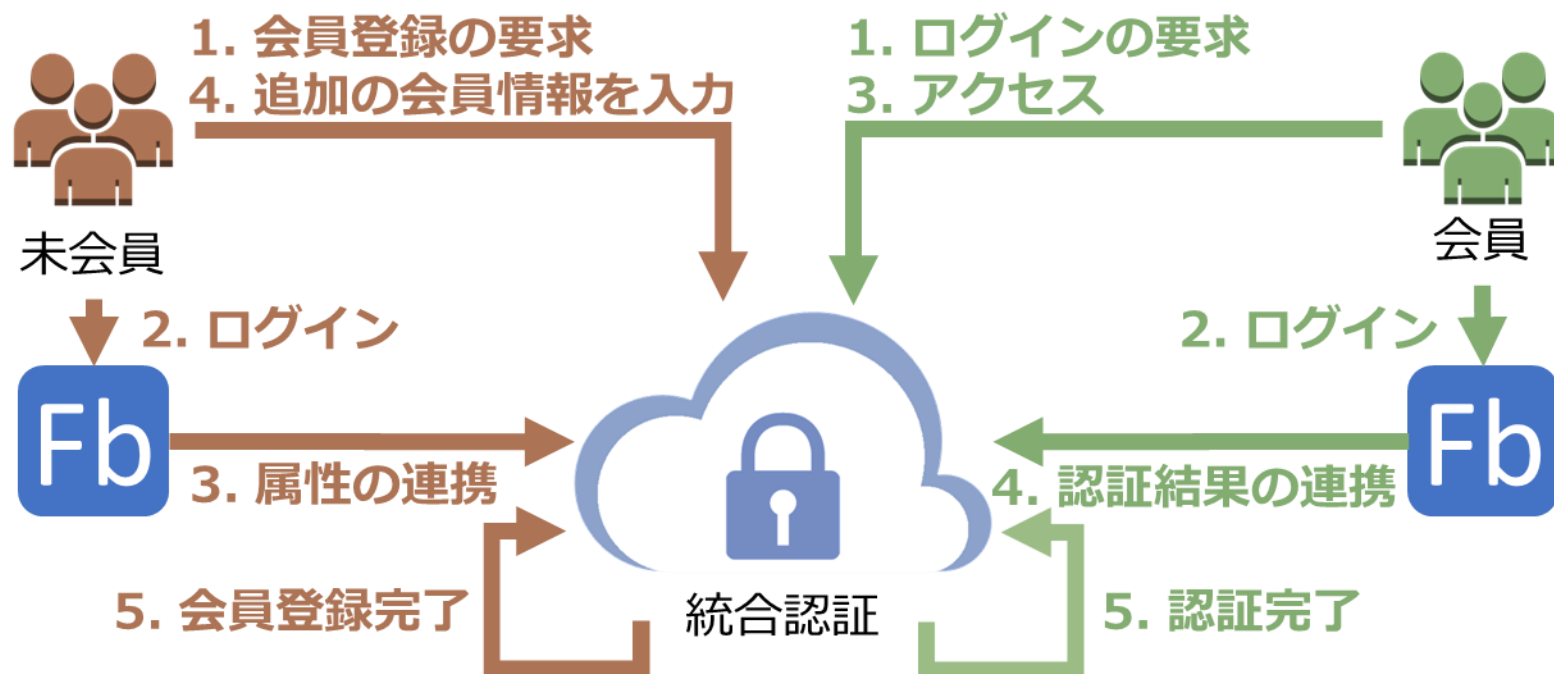
2. 認証を一元管理（SSOする）

- ✓ 各会員向けサイトの認証機能はそのまま、**統合認証からの認証結果の連携を受け入れる**仕組みを標準プロトコルで実現
- ✓ 全てのサイトに同一の認証セキュリティとUXを適用できる



3. ソーシャル連携（認証と会員登録を楽に）

- ✓ 外部サービス（SNSなど）で認証を行い、**属性情報を統合認証に連携することで、会員登録のプロセスを簡略化**できる。また、統合認証のためのパスワードを新たに設ける必要がない。
- ✓ ログイン時は外部サービスの認証結果を受け入れ、認証完了とする。





外部ID

ソーシャル連携



会員サイト

シングルサインオン



統合認証

既存データの取込



既存の会員
データ

会員情報の連携



会員サイト

会員情報は疎結合で統合可能

(参考) 連携の仕様

- 既存会員情報のインポートの例
 - SCIM
 - CSV登録用のAPI
 - ID管理製品によるプロビジョニング機能 など
- 会員のID・属性の連携例
 - SCIM
 - ID管理製品によるプロビジョニング機能 など
- 会員の認証情報の連携例
 - OpenID Connect
 - SAML
 - SCIM
 - 統合認証製品によるフェデレーション機能 など
- ソーシャル連携の例
 - OAuth 2.0
 - OpenID Connect

ThemiStructの新プロダクト（仮称）

クラウド、IoT時代の認証プラットフォーム



COMING
SOON

4つの特徴



認証システムの短期導入が可能

ThemiStructの新プロダクトはクラウド上に設置され、短期間で従業員、カスタマー、ビジネスパートナーに認証サービスを提供できます。また、APIを利用し既設サイトへの組み込みも容易です。



ソーシャルログイン連携

ソーシャルログイン連携によりFacebookやGoogleのIDを活用、ユーザ登録のハードルを下げることでサイトのユーザビリティ、コンバージョン率を向上させます。



事業成長に合わせたスケーリング、突発的アクセス集中への対応

事業環境の変化や突発的アクセス集中に合わせて、自由にかつ自動でコンピュータリソースの拡張・縮小を行えます。

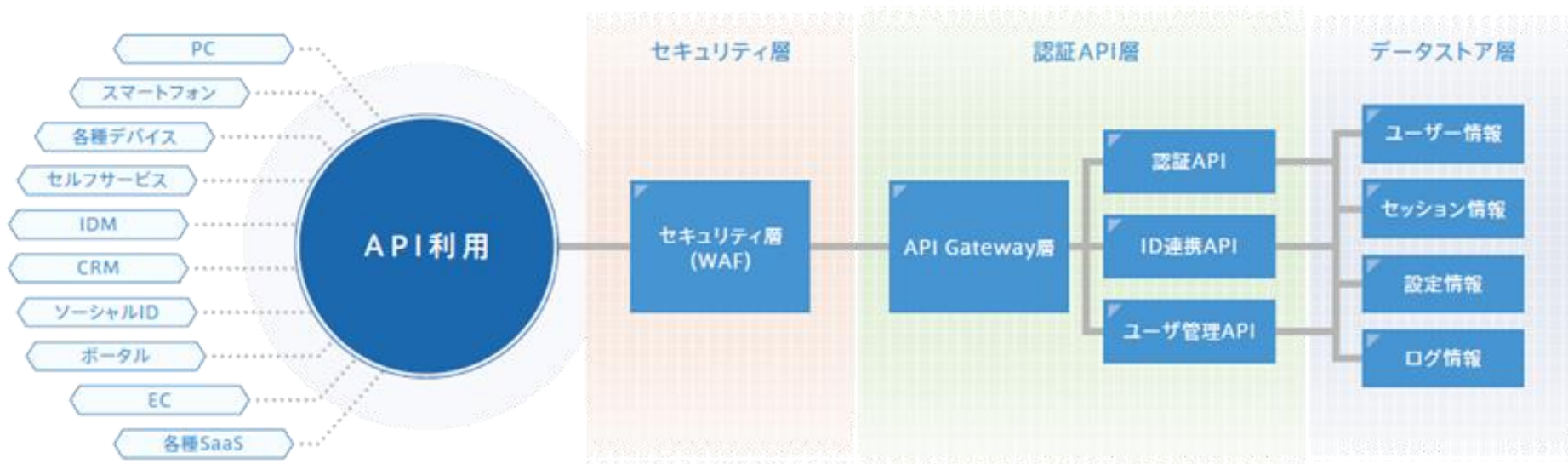


アクセスセキュリティ強化

パスワード認証、ワンタイムパスワードに加えて、電子証明書、インベントリ認証など多要素認証方式をサポート。サイトのアクセスセキュリティを強化できます。

AWSをつかっています

Build on Serverless Architecture



当社は APN (AWS Partner Network)
コンサルティングパートナー です。



I'm
AWS Certified SA Pro

まとめ

- 会員サイトの要求の多様化
 - ビジネスに直結する「コンテンツ」に注力したいが…
 - 様々な要求や制約があり、**柔軟にビジネスの拡張**ができない
- データ活用の第一歩「会員統合」
 - **「連携のプロトコル」で疎結合に**統合できる。
 - **「会員管理」と「会員認証」を共通の機能**として準備する（何れも、標準のプロトコルで実装）
- 「会員統合」の手段
 - **「ThemiStructの新プロダクト（仮称）」**は、BtoC向けサイトに特化した統合認証プラットフォーム
 - 今春提供開始

Security Days

- 3月3～4日 Security Days 出展・講演します。
- 講演タイトルは「アイデンティティ連携で変わる企業の認証基盤」
 - （東京では既に満席…）

情報セキュリティ総合展示会&セミナー

SecurityDays

大阪会場初開催！

東京 2016年3月3日(木)～4日(金)

JPタワーホール&カンファレンス (JPタワー 4F)

大阪 2016年3月11日(金)

ナレッジキャピタル・カンファレンスルーム (グランフロント大阪 北館 タワー C 8F)



ThemiStruct
デミストラクト

ご清聴ありがとうございました



【お問合せ先】

TEL: 03-6712-1201 / 06-6871-7998

E-mail: info@ogis-ri.co.jp